

す。現地に行くこともあるかもしれませんが。皆さんも自分に出来ることから始めましょう。

このドタバタに気付いたのか今年の桜は少し遅いようです。しかし、確実に咲き始めました。いつもと同じ桜なのに妙にホツとするのは僕だけでしょか。

## 歯の再生

ごとう通信の読者であれば、僕がインプラントを推奨していないことをご存じだと思えます。正直「それは無理だろう…」と書いています。

ちよつと不謹慎なたとえですが、原子力発電所の問題にとても近いと思います。予期せぬ出来事（原発では大津波、口腔内では歯ぎしりのよう

な力）も起こるし、地盤の問題（口中では骨の状態）も影響します。何より、目的のためには手段選ばず的な発想にも同意できないところがあります。

そんな中、地道ではありますが歯科でも再生医療というものが進んでいます。単純に言うとう歯を失った所に歯を作りましょう！という企画です。と言っても人間の歯はサメのよ



うに失ったら次から次へと生えかわるというものではありませんので歯を埋め込むという作業にはなるのですが。現在は動物実験の段階ですが、なかなかの結果が出ていくらしく、これから人間に應用できるかどうかという段階のよ

うです。

僕は、この技術に対しては一定の評価をしています。と言うのも、インプラントは硬い骨に支柱を立ていくというものなのですが、再生医療で考えているのはあくまでも歯を埋め込むことであり、根を支える組織もちゃんとあります。その意味ではとても理にかなっています。

人間での応用はもう少し先になると思いますが、いい形で世の中に広がっていけばいいなあと思います。

ただ、この技術が応用できるようになっても僕が皆さんに積極的に勧めることはないでしょうね。決してあまのじゃくではなく。だって皆さん、「歯を抜いても代わりの歯がある」と思ったら自分の歯を大事にしないでしょ！ 本末転倒。自分の歯にかなうものなし！